

## 本市のデータ

- (1) 面積 24.73km<sup>2</sup>
- (2) 総人口 241,966人 (平成25年5月1日現在)
- (3) 世帯数 107,679世帯 (平成25年5月1日現在)
- (4) 沿革
  - 昭和26年 市制施行 (寝屋川市)
  - 昭和36年 水本村と合併
  - 昭和41年 一部が大東市に編入され、現在の市域となりました。
  - 平成13年 (市制施行50周年) 特例市となりました。
- (5) 産業構造

	第1次	第2次	第3次
就業人口 (22国調)	278人	26,117人	70,855人

## 本市の概要

寝屋川市は、大阪府の東北部、淀川左岸に位置し、大阪市域の中心から15km、京都市域の中心から35kmの距離にあります。

寝屋川市は、市域の中心部を流れる寝屋川を市の名称にしているように、この土地に住む人々と「水」がどのようにして調和のある共生を実現するのか、という課題に取り組んできた生いたちがあります。

市域の丘陵部には旧石器時代の遺跡が点在し、縄文時代から弥生時代にかけて市域南部に広がっていた河内湾は人々に豊かな食料を供給するとともに、いろいろな文化や技術が伝わるルートにもなっていました。

市の北西を流れる淀川は、古くから人や物の移動の大動脈として重要でした。しかし、よく洪水も起こり、古代から明治にいたるまで近隣の人々を苦しめました。丘陵部に住む人たちは、逆に用水の確保に苦勞してきたようです。



## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

大阪府の自殺者数は、毎年ほぼ2千人を超える状況が続いており、自殺対策は重要な課題となっています。

このようなことから、寝屋川市では、現在、関係団体・関係機関と連携を図り、自殺対策の取組を進めており、今後も引き続き、自殺予防の徹底を図るため、各種講演会、研修を実施するとともに、さまざまな機会において啓発を行っていきます。

## <具体的な取組み>

### 1 講演会の実施

#### (1) 平成24年度

テーマ 「心がフッと軽くなる瞬間の心理学」

講師 名越 康文氏（京都精華大学人文学部客員教授・精神科医）

対象 市民約300人

### 2 研修の実施

#### (1) 平成24年度

ア テーマ 「大阪府自殺未遂者実態調査からわかったこと～地域における自殺対策～」

講師 関西医科大学精神神経科自殺予防グループリーダー

対象 本市職員その他関係機関職員

イ テーマ 「自殺予防に向けての早期発見と適切な対応」

講師 関西福祉科学大学社会福祉学部准教授

対象 本市職員

ウ テーマ 「自死遺族の思い」

講師 自死遺族 NPOぐりーふサポートハウス代表

対象 本市職員その他関係機関職員

エ テーマ 「アルコール依存症とは～基礎知識と自殺の関連～」

講師 クリニック院長

対象 本市職員その他関係機関職員

オ テーマ 「精神障害とは～基礎知識と自殺の関連～」

講師 クリニック院長

対象 本市職員その他関係機関職員

カ テーマ 「相談の基本～共感と傾聴～」

講師 関西福祉科学大学社会福祉学部准教授

対象 本市職員その他関係機関職員

キ テーマ 「自殺危機初期介入スキルワークショップ～自殺予防ゲートキーパー研修～」

講師 ルーテル学院大学自殺危機初期介入スキル研究会

対象 本市職員その他関係機関職員

#### (2) 平成25年度

テーマ 「ゲートキーパー養成研修」

講師 未定

対象 本市職員

### 3 その他の取組

(1) メンタルチェックシステム「こころの体温計」の導入

(2) ゲートキーパー手帳の作成・配布（予定）

(3) ヘルスアップ教室の実施

内容 「ストレスとうつ病について」

講師 寝屋川市医師会会員

対象 市民

(4) 自殺予防啓発に関する庁内放送の実施

9月の自殺予防週間・3月の自殺対策強化月間に合わせて、来庁者及び市職員を対象に庁内放送を実施。

(5) 自殺予防啓発のためのパネル展示等

9月の自殺予防週間・3月の自殺対策強化月間に合わせて、市立総合センターロビーにおいて、自殺予防啓発のパネルを展示する。